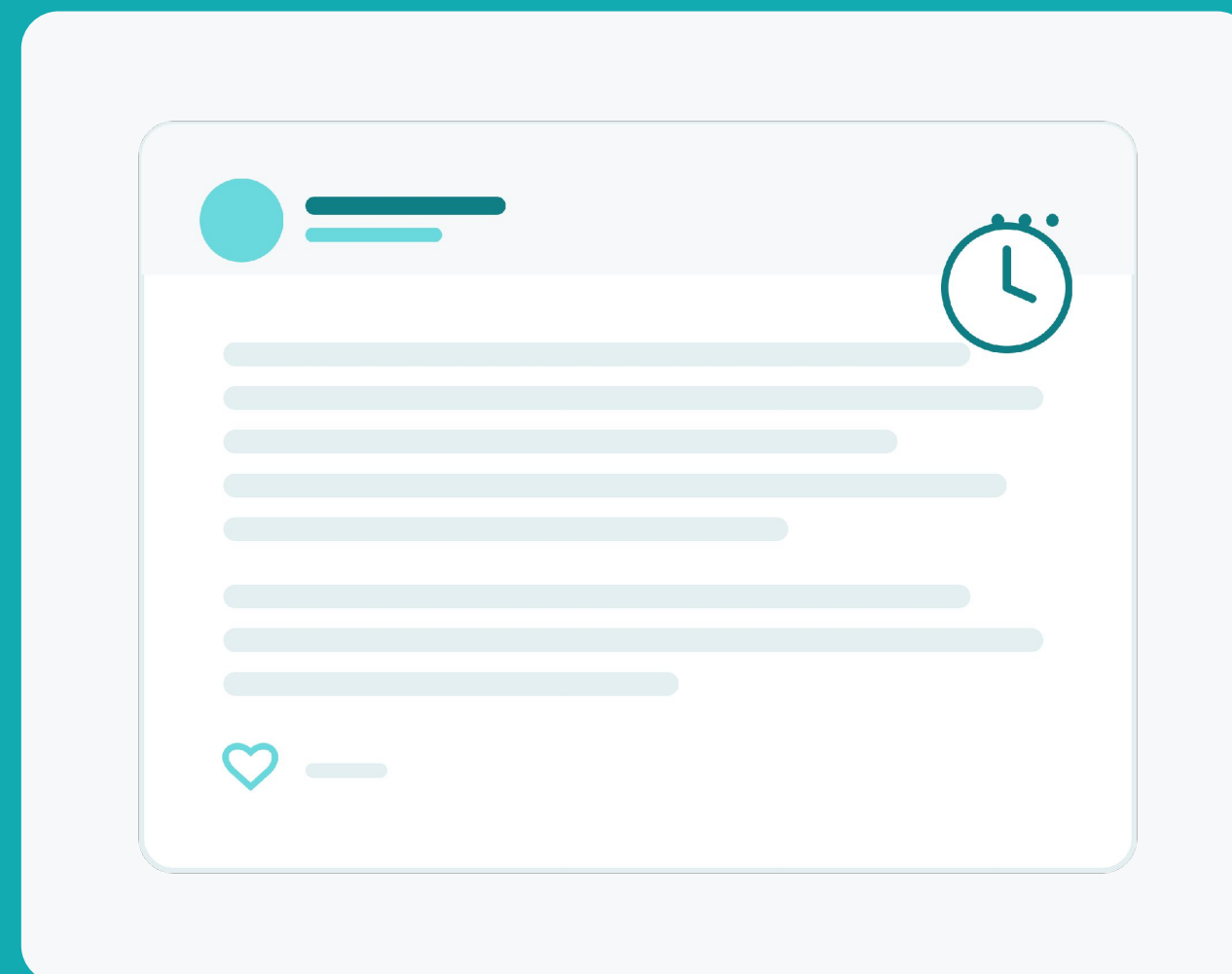


求人広告費は増やしているのに、応募が来ない

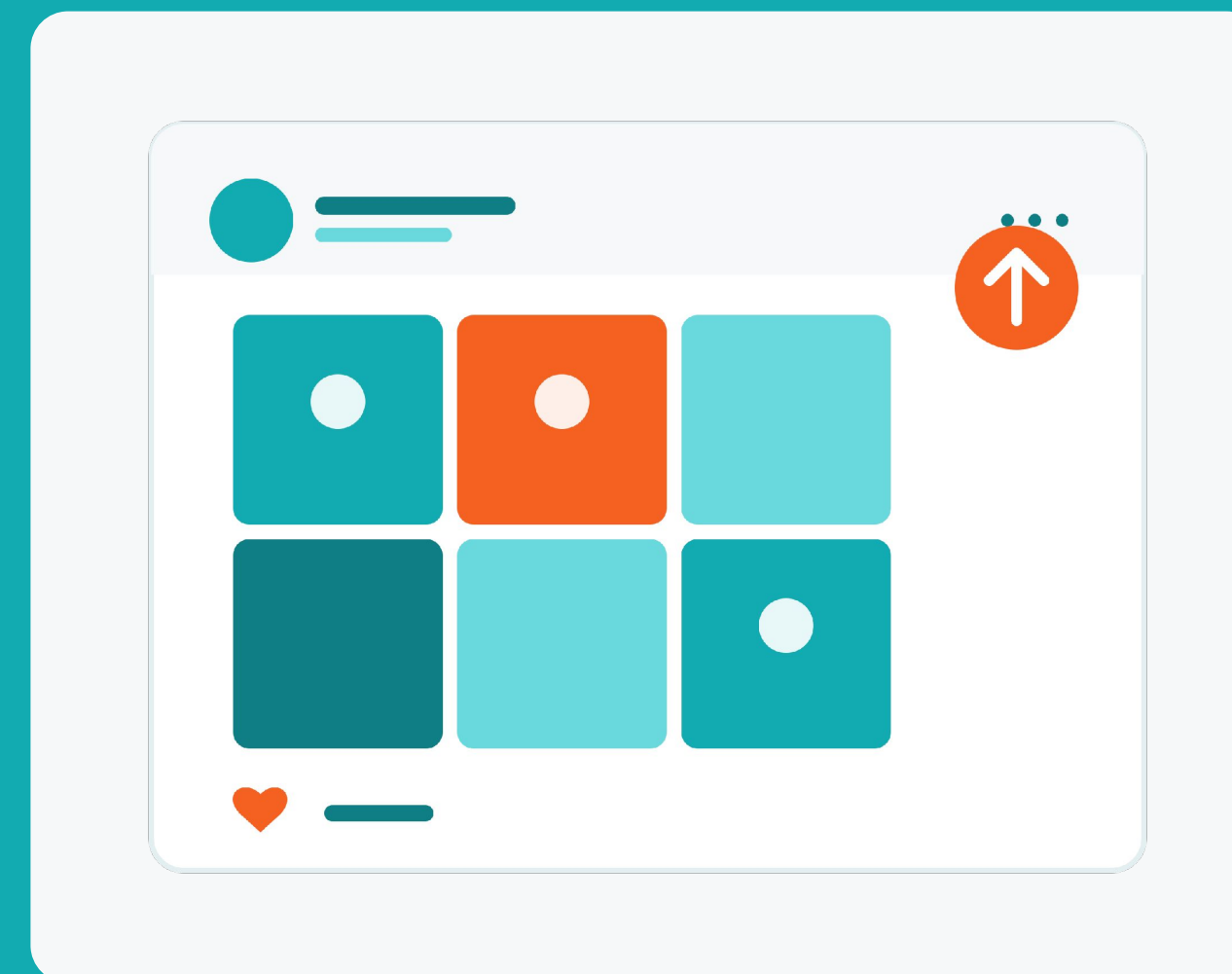
採用者が激減する SNSアカウントの特徴3選

採用に課題を感じる経営者・人事担当者のための実践ガイド

応募が増える



辞退が減る



友竹HD
採用SNS支援

INDEX

1 あなたの会社のSNSアカウント、こんな特徴はありませんか？

2 実は求職者の多くが応募前にSNSを見ている

3 友竹ホールディングスの採用SNS支援はココが違う！

4 充実のサポート体制

5 よく聞かれるご質問

あなたの会社のSNSアカウント
こんな特徴は

ありませんか？



こんな特徴はありませんか？

投稿の中身が 「社内向け」

- 記念日や表彰式など、社内行事の投稿ばかり
- 「入社後の働き方」が一切イメージできない
- 一緒に働く人の顔や声がほとんど出てこない
- 求職者ではなく社内向けの自己満足になっている



こんな特徴はありませんか？

投稿の更新が 止まっている

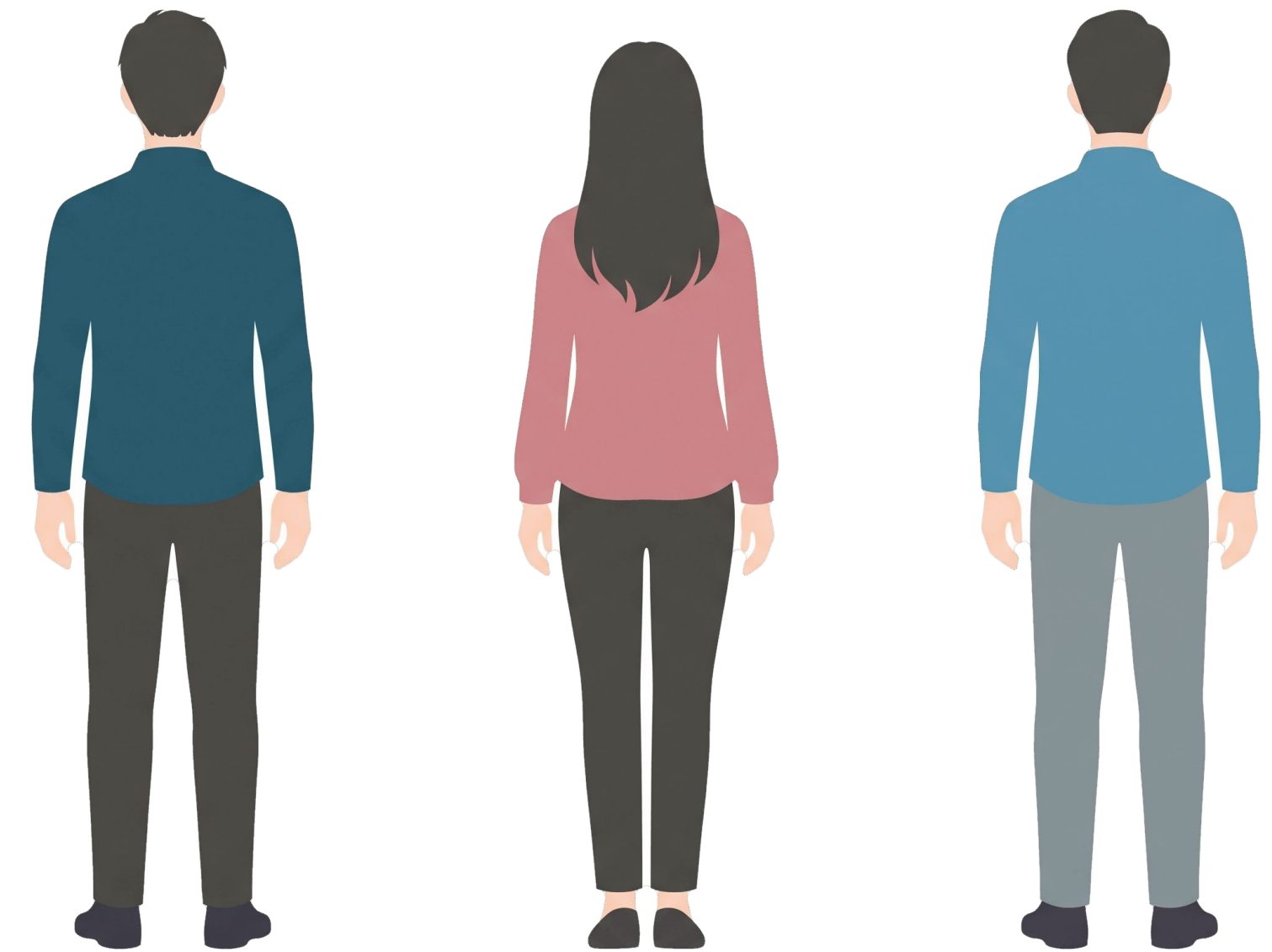
- 最終投稿が数ヶ月前のまま更新されていない
- 投稿が月1回あるかないかのペースになっている
- 「活気がない会社」だと無意識に判断されている
- 情報発信への本気度が伝わらず選考前に離脱される



こんな特徴はありませんか？

働く人の 「顔」が見えない

- ロゴや制服写真ばかりで社員の表情が出てこない
- 「どんな人と働くのか」がまったく想像できない
- 若手層ほど条件より先に「人」で会社を判断する
- 顔が見えないだけで応募の検討から外れてしまう



応募が集まらない理由は 「発信者目線」のまま

求職者がSNSで確認しているポイント（複数回答）

- 1位 社員の雰囲気や人間関係が伝わるか
- 2位 実際の仕事内容や1日の流れが分かるか
- 3位 直近の投稿があり活動が続いているか
- 4位 代表や社員の考え方が発信されているか
- 5位 口コミや求人票の内容と食い違いがないか



「見られている」前提の
設計ができていない

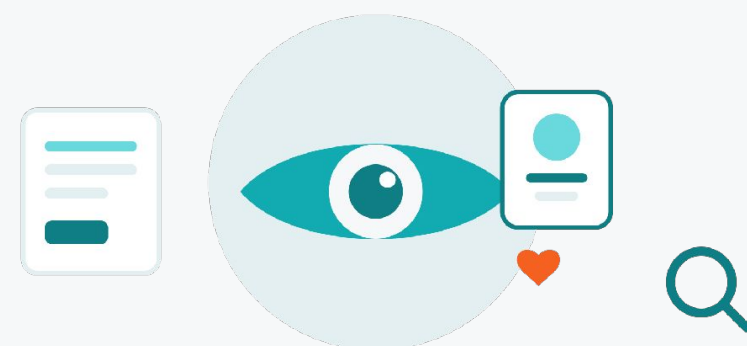
だから私たちが、
採用に強いSNS運用で解決します

友竹HDはココが違う！



「発信者目線」から「求職者目線」への転換を設計する

求職者視点の企画設計



求人票では伝わらない「人・雰囲気・仕事内容」を切り口に、応募につながる投稿テーマを設計します。

継続できる運用体制



担当者任せにせず、企画から撮影・投稿までの型を用意。更新が止まらない運用サイクルをつくります。

採用につながらない発信のムダをなくす仕組みで、 応募が増える運用を定着

企画のムダを削減

- テーマを型で先に決める
- 反応の良い投稿の型を蓄積
- ネタ出し時間を最小限に

撮影のムダを削減

- インタビュー台本を用意
- スマホ撮影・編集ルールを統一
- 現場負担を最小限に

運用のムダを削減

- 投稿カレンダーで停滞を防止
- 承認フローを1段に
- 効果測定を月次で反映

友竹ホールディングスの採用SNS支援メニュー

社員インタビュー投稿



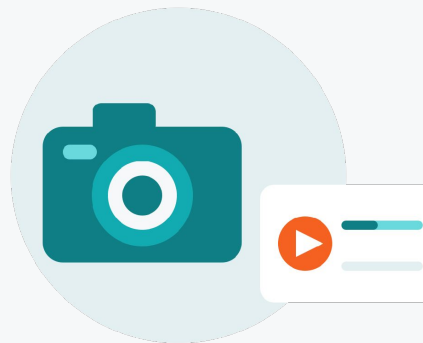
働く人の声を切り口に企画・撮影。求人票では伝わらない雰囲気伝える。

投稿カレンダー設計



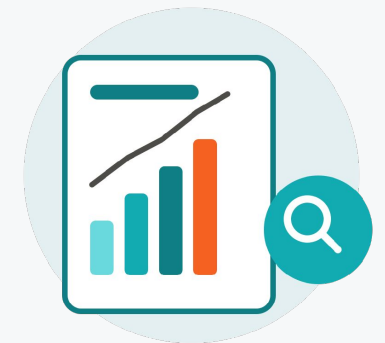
月間テーマとペースを設計し、更新停滞を防ぐ。

撮影・編集代行



社員出演の投稿を撮影～編集まで代行し、現場負担を増やさない。

応募効果レポート



投稿反応と応募数の関係を月次で報告、次の企画に反映。

発信が止まらない体制のつくり方 友竹HDによる採用SNS支援の全体図

経営

採用ターゲットと目標の決定

協力体制の承認

月次で応募状況を確認

現場担当

インタビュー・撮影への協力

素材や情報の共有

気づきの共有

友竹HD

企画・カレンダー設計

撮影・編集・投稿の実行

月次レポートと改善提案

応募が増える発信を続けるための

充実のサポート体制



充実のサポート体制

チャット&定例MTG



平均初回返信は当日中。月2回の定例で相談から応募状況の共有まで伴走。

運用ルール・出演ガイドライン



投稿ルールや出演時の注意点を共有し、誰が担当しても同じ品質を維持。

導入前によくいただく
ご質問にお答えします

よく聞かれるご質問



Q1

社員が投稿に出演するのを嫌がらないか心配です。

出演の目的と範囲を事前にすり合わせ、無理のない範囲で協力を得ます。台本と撮影の立ち回りを用意するため、負担感なく協力を得られたケースが多くあります。

Q2

効果が出るまでどのくらいかかりますか？

投稿の型が定着するまで数ヶ月を見込んでください。反応や応募経路の変化を月次で確認し、企画を調整しながら応募増につなげます。

まずはお問い合わせください

下のボタンから、お問い合わせフォームが開きます。

[お問い合わせはこちら](https://tomotakeholdings.com/contact/)

<https://tomotakeholdings.com/contact/>